

南砺を想い 南砺を願う

7月10日は

 なんとの日 

企画書

平成22年3月6日(土)

七転び八起き塾 第1期塾生

【なんとの日グループ】

橋爪 央樹 金田 雄介 後安 良彦
近藤 隆洋 富田 大輔 金田 昌子

1. 企画名称

「なんとの日」

2. 趣旨

南砺市民が南砺への思いを深め、そして地域、家族の絆を確認して、よりよき南砺、より豊かな生活を実現するために市民一体となり祝い、感謝し、記念する日を定め「なんとの日」と名づける。

3. 概要

- 1) 「なんとの日」は市が定める。
- 2) 「なんとの日」は毎年7月10日とする。
- 3) 「なんとの日」を市民の祝日とし休日とする。
- 4) 「なんとの日」には上記の主旨に沿った記念事業を行う。

4. 記念事業

1) 事業主体

- ・主催は「なんとの日実行委員会」とする。
- ・初年度は南砺市と七転び八起き塾第一期塾生で組織する。
- ・次年度以降は記念事業とともに、広くまちづくりを行っている市民活動団体、ボランティア団体、特定非営利活動法人（NPO）、子ども会、町内会、PTA等の地域活動団体、及び学校、協同組合、民間事業者からひろく募る。
- ・共催等については各事業ごとに関係団体と協議し依頼する。

2) 事業内容及び予算

- ・「なんとの日」の趣旨に沿った事業を行う。
- ・初年度は次の頁に挙げる5つの事業を、市の計上する七転び八起き塾の予算にて行う。
- ・次年度以降については前述のとおり公募とする。

事業名	事業内容	予算
なんとを想い・なんとを願う 作文・絵画募集	<ul style="list-style-type: none"> ・南砺市に関心を持ち親んでもらうため、家族の絆を深めてもらうため、7月10日に南砺市や各地域への想いを家族で話し合ってもらいその内容を表した作文・絵画を募集する。 ・市内の小中学校・一般から募集し小学校の部最優秀賞者は一日こども市長に任命する。 	110,000円 内訳：記念品70,000円 商品券40,000円
なんと検定	<ul style="list-style-type: none"> ・合併5周年にあたり旧8町村お互いの地域のことをさらに知ってもらい、関心を持ってもらうために、南砺の歴史・文化・自然にまつわる問題集、「なんと検定」を作成する。 ・7月10日の朝刊に折込み家族で挑戦してもらう。 	375,000円 内訳：印刷費240,000円 折込料135,000円
なんと！家族で エコがいいガイド	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を守りながら（ゴミ拾い・山道整備）、教養を深めながら（ガイドの案内）、南砺の魅力を再発見できるエコガイドウォーキング。 ・4つコースを設け、家族で参加してもらう。 	400,000円 内訳：4コース×100,000円 (準備費・消耗品・謝礼・保険料等)
今日は 「なんと！〇〇」	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が南砺市の施設・商品・食材・工芸品の魅力や良さを実際に体験して、手にしてもらうことで再確認できる機会を設けるため、南砺市内の各施設、商店の協力を得て、なんとの日特別企画や特別価格のキャンペーンを行う。 ・「なんと！710円商品！」や「なんと！71円引き」セール等。 	600,000円 内訳：ポスター1,00000円 のぼり旗50,000円
なんとを想う！ 市長と生激論!!	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が南砺市や市政に関心を持ち、参加するきっかけとなるよう、日頃から市民が関心のあるテーマについて、市長と市民代表が有識者、著名人等のゲストを交えて公開討論を行い、さらにその模様をケーブルテレビで生中継する。またテレゴングを利用して視聴者にも視聴するだけでなく参加してもらう。 	405,000円 内訳：会場使用料1,00000円 出演者謝礼125,000円 テレゴング180,000円
(各事業共通費用)	<ul style="list-style-type: none"> ・なんとの日実行委員会運営 ・なんとの日広報 	550,000円 内訳：運営費 50,000円 広報費500,000円

予算額 計 2,440,000円

3) 事業の実施スケジュール

記念事業は以下のスケジュールにて進行する。

